

令和6年2月16日

農政部 農業構造政策課 経営体支援係

電話：027-226-3024 内線：3025

小松成美「人成熟」×群馬県庁でトークセッションを開催します

北京オリンピック銀メダリストの朝原宣治氏とノンフィクション作家の小松成美氏を招き、「オリンピックで日本人が戦うということ」、「アスリートの食」をテーマに講演・トークセッションを開催します。

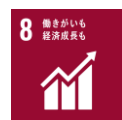
- (1) 日時
3月9日(土) 14:00～16:00
- (2) 場所
NETSUGEN (群馬県庁 32階)
- (3) 登壇者
朝原 宣治 氏 (2008年北京五輪 男子4×100mリレー 銀メダリスト)
小松 成美 氏 (ノンフィクション作家)
- (4) 参加方法
会場及びオンライン (zoom ウェビナー)
- (5) 参加費
無料
- (6) 対象
講演・トークセッションテーマに興味がある方
- (7) 定員
(会場) 50名程度 + (オンライン) 100名程度
- (8) 申込方法
NETSUGEN ホームページのセミナーページよりお申込みください。
<https://www.netsugen.jp/event/e00004639/>

【登壇者ご紹介】

● 朝原 宣治氏

1972年6月21日生まれ、兵庫県出身。高校時代から陸上競技に本格的に取り組み、走り幅跳び選手としてインターハイ優勝。大学では国体100mで10秒19の日本記録樹立。その加速力から「和製カール・ルイス」と呼ばれた。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



大学卒業後、大阪ガス株式会社に入社、ドイツへ陸上留学。初出場のアトランタオリンピックの100mで28年ぶりに準決勝進出。自身4度目となる2008年北京オリンピックの4×100mリレーでは、アンカーとして、悲願の銀メダル獲得。同年9月に競技生活引退（36歳）。世界陸上には6回出場。2010年に次世代育成を目的として陸上競技クラブ「NOBY T&F CLUB」を設立。これは大阪ガスグループの地域貢献活動の一環でもあり、引退後も自身のキャリアを社会に生かそうとチャレンジを続けている。野菜や食育に関して深い知識を持つ。妻は元シンクロナイズドスイミング日本代表で、バルセロナオリンピック銅メダリストの奥野史子さん。

(参考ページリンク)

<https://network.osakagas.co.jp/effort/shokuiku/01seminar/asahara.html>

● 小松 成美 氏

ノンフィクション作家

神奈川県横浜市生まれ。広告代理店、放送局勤務などを経たのち、作家に転身。生涯を賭けて情熱を注ぐ「使命ある仕事」と信じ、1990年より本格的な執筆活動を開始する。真摯な取材、磨き抜かれた文章には定評があり、数多くの人物ルポルタージュ、スポーツノンフィクション、インタビュー、エッセイ・コラム、小説を執筆。

主な作品に、『アストリット・キルヒヘア ビートルズが愛した女』『中田語録』『中田英寿 鼓動』『中田英寿 誇り』『イチロー・オン・イチロー』『和を継ぐものたち』『トップアスリート』『勘三郎、荒ぶる』『YOSHIKI/佳樹』『なぜあの時あきらめなかったのか』『横綱白鵬 試練の山を越えてはるかなる頂へ』『全身女優 森光子』『仁左衛門恋し』『熱狂宣言』『五郎丸日記』『それって キセキ GReeeeN の物語』『虹色のチョコレート』等、多数。

最新刊『M 愛すべき人がいて』は、累計21万部突破のベストセラーに。2014年9月、高知県観光特使に就任。現在、執筆活動をはじめ、テレビ番組でのコメンテーターや講演など多岐にわたり活躍中。